

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名		次世代育成支援対策施設整備事業		担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市次世代育成支援対策施設整備補助金交付要綱	
基本政策(大項目)	1	健康で安心して暮らせる鳴門づくり				
政策(中項目)	2	子どもいきいき元気都市 なる				
(小項目)		児童福祉				
施策	2	児童福祉の推進				
基本事業	2	保育所の充実		事業期間	開始	平成 20 年度
					終期	未定

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 私立保育所・園							
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	私立保育所・園の老朽化に伴う施設整備を支援することにより、乳幼児にとって、よりよい保育環境を提供することを目的とする。							
成果目標	事業目標の達成度合	指標名		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位
		私立保育所・所についての耐震化済保育所率		63	81	88	91	100	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	補助対象事業(老朽民間社会福祉施設整備)として、里浦ちどり保育所の耐震改修、すみれ保育園の改築、岡崎保育所の耐震改修、いずみ保育園の大規模修繕に対して補助金を交付した。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
指標名		22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 耐震対策をする私立保育所・園の数	1	3	1	1	1	園	
	2 耐震対策をする私立保育所・園の定員数	40	140	60	—	—	人	
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	私立保育所・所についての耐震化済保育所率	62.5	81.25	—	—	—	%	
	目標達成率(実績/目標)		100.0	—	—	—	%	

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	172,774	142,018	99,247	—	—	千円	
	財源内訳	国	0	0	0			
		県	105,183	87,200	62,831			
		地方債	52,000	43,800	29,100			
		その他	0	0	0			
		一般財源	15,591	11,018	7,316			
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		1,629	2,607	1,629	1,629	1,629	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.25	0.40	0.25	0.25	0.25		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		174,403	144,625	100,876	—	—	千円	

【事務事業名:次世代育成支援対策施設整備事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	板東ゆたか保育園について改築を計画し、実行している。
---------	----------------------------

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	8 /10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	保育の場である 保育所の施設整備を進めることは、重要な施策である。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 児童福祉の推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	<input type="checkbox"/> ⑥ 法令により実施することが義務づけられている事業である。		
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	10 /10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	目標の達成に向けて、有効な事業である。
<input checked="" type="checkbox"/> ② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。			
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。			
<input checked="" type="checkbox"/> ④ 事業対象は適切である。			
<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
<input checked="" type="checkbox"/> ⑥ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。			
3.効率性の評価		理由等所見欄	
10 /10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。	補助制度を活用することによって、効果的に実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		

◎今後の方向性(ACTION)

課題等					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> ▼ ▼			
	どのように改革するのか				